

2024年2月22日
販売開始

住まなくなっても 守りたい

—元住民たちの想い

著者 浅原昭生
Team HEYANEKO 代表

発行 秋田文化出版
定価 2,200 円（10%税込）

四六判・280 ページ
ISBN4-87022-615-9

「ここにムラがあったこと」 伝えるものは何だろう

令和の世が進み、人口減は加速している。限界集落が無住になると、どうなっていくのだろうか。

本書では、全国の廃村をくまなく訪ね、調査する著者が、元住民たちとの出会いがあった 18 か所の無住集落について、歴史と現況をまとめ、「住まなくなっても守りたいもの」を掘り下げる。

私たちが未来に向けて守っていきたいものは何だろうか。廃村は多くの気づきのきっかけを持っている。



《収録 18 集落》

- ◎ 鴻之舞（北海道紋別市） [北海道]
- ◎ 上雄柏（北海道滝上町）
- ◎ 小摩当（秋田県北秋田市） [東北]
- ◎ 東由利原（秋田県由利本荘市）
- ◎ 小倉（山形県小国町）
- ◎ 石津鉦山（群馬県嬬恋村） [関東]
- ◎ 角海浜（新潟市西蒲区） [甲信越]
- ◎ 沓津（長野県飯山市）
- ◎ 八橋（愛知県設楽町） [東海]
- ◎ 越波（岐阜県本巣市）
- ◎ 北原（富山県南砺市） [北陸]
- ◎ 割谷（福井県池田町）
- ◎ 保月（滋賀県多賀町） [関西]
- ◎ 向畑（山口県岩国市） [中国]
- ◎ 石鎚村（愛媛県西条市） [四国]
- ◎ 竹屋敷（高知県北川村）
- ◎ 箕島（長崎県大村市） [九州]
- ◎ 新島（鹿児島市）

※ 網取（沖縄県竹富町）など 5 集落をコラムに収録